



後継者難に悩む地場中小企業を支援しようと、中小企業基盤整備機構や西日本シティ銀行などの地方銀行5行などが出資して5月に設立予定の

て、会社は自分の子どものようなもの。生半可な気持ちや知識ではできない」と気を引き締める。後継者問題は、社長一人で切り盛りする中小企業にとって切実な悩み。優れた技術やノウハウを持ちながら、後継者が見つけられず事業継続を断念するケースもある。ファンドは、こうした企業の株式を譲り受けて経営権

手銀行で中小企業向け融資を経験した。経営者から後継者問題の相談も受けたが、当時はこうしたファンドもなく「解決策を示せなかった」と振り返る。金融コンサルティンク会社を経て、04年4月に産業再生機構へ。宮崎交通(宮崎市)の再建も担当し、一時は取締役を務めスポンサー選定や資産売却にかかわった。

中小企業の承継へ

「九州ブリッジファン」を取得。内外から後継者に適任の人材を登用し、ドーガン・インベストメント(福岡市)で、支援期にわたって支援して円滑に事業承継を図る。「企業経営者にとっ

事業切り売りなどで短期間に利益の最大化を図る従来のファンドの考え方は、腰を据えて取り組めない。「地場企業には、会社をそのまま残してほしいとの願いが強い。その要望に応えても、ファンドが事業として成立することを示したい」

「ドーガン・インベストメント」
シニアファンドマネージャー

中西雅也さん(31)

【桐山友一】

